

彙 報

研究活動等 (2017年1月～2017年12月)

総合政策学科

安達義通

1. 論文

- (1) 単著 (2017年3月) An Examination of The Applicability of Nonaka's Theory in The Empirical Context of UK Urban Regeneration: A Case Study of The Creative Town Initiative in Huddersfield (3) -Looking at the Background to Creative Town Initiative in Huddersfield-(『山梨国際研究』(山梨県立大学国際政策学部紀要第12号・研究論文))

2. 社会的活動 (委員等)

- (1) 幹事委員 やまなしコミュニティビジネス推進協議会 (2017年1月～12月)
- (2) 企画運営委員 キャンパスネットやまなし (山梨県生涯学習文化課) (2017年4月～12月)
- (3) アドバイザー やまなし若者中心市街地活性化協働事業実行委員会 (2017年6月～10月)
- (4) 委員 山梨県景観審議会 (2017年)
- (5) 委員 中央市長期総合計画審議会 (会長) (2017年)

3. 学会貢献

- (1) 副支部長 日本地域政策学会甲信越・北陸支部 (2017年4月～)
- (2) 評議員 日本地域政策学会 (2017年4月～)

4. その他

- (1) 「甲府らしさ」に関する聞き取り調査 (OC事業) (2017年4月～)

石山 宏

1. 著書

- (1) 『検定簿記講義／2級商業簿記 (平成29年

度版)』(共著)中央経済社, 2017年3月。

- (2) 『検定簿記ワークブック／2級商業簿記(第3版)』(共著)中央経済社, 2017年3月。

- (3) 『現場で使える簿記・会計』(共著)中央経済社, 2017年4月。

- (4) 『勘定科目・仕訳事典(第2版)』(共著)中央経済社, 2017年8月。

- (5) 『全国経理教育協会公式 簿記会計仕訳ハンドブック』(共著)創成社, 2017年8月。

2. 社会活動等

- (1) 山梨県出資法人経営検討委員会委員

山梨県では、出資法人について効率的、効果的な経営の推進と県民サービスの向上を図るため、経営評価を実施している。このうち、国のガイドライン(「第三セクター等の改革について」(平成20年6月30日付け総財公第112号総務省自治財政局長通知))により、出資法人の負債・債務のうち、地方財政健全化法の将来負担比率に算入された額の状況などから、経営が悪化しているおそれのある、山梨県土地開発公社、(公財)山梨県環境整備事業団、(公財)山梨県林業公社、(公財)山梨県農業振興公社及び山梨県住宅供給公社の5法人について、山梨県出資法人経営検討経営委員会を設置して、経営状況等の評価と改革案の検討を行っており、当該委員会の委員を拝命している。当該委員会は4名で構成され、他の委員は、弁護士、公認会計士・税理士、山梨県総務部次長である。2017年10月委員会開催。

大西康雄

1. 論文

- 「최인규의 '친일' 영화에 내재된 메시지의 이

중성에 관한 연구 (崔寅圭の「親日」映画に内在するメッセージの二重性)

『일본문화논총 (日本文化論叢)』16: 1-30 대한 일본문화학회 2016年12月 (単著)

熊谷隆一

1. 論文 (単著)

- (1) 「リニア中央新幹線と山梨のまちづくり」 (『自治研かながわ月報 No.167』((社)神奈川県地方自治研究センター発行、2017年10月25日) pp.13～22)

2. 講演 (単独)

- (1) 神奈川県地方自治研究センター研究講師団会議講師「山梨のまちづくり情報」((社)神奈川県地方自治研究センター、2017年8月18日)

3. 学会報告等

- (1) 学会分科会コーディネーター
「自治体学会甲府山梨大会分科会6『市民がつくる中心街と自治体職員～甲府市を事例として～』(8月26日、山梨学院大学)
- (2) 学会ポスターセッション (共同)
「四菱まちづくり総合研究室-甲府市中心街で学生が主体的に運営する『まちなか研究室』-10周年を迎えた2017年度の活動報告」(8月26日、山梨学院大学)

4. 報告書

- (1) 「よつびし総研プレゼンツ 甲府!おもてなしBOOK4 & 2016年度よつびし総研活動報告書 合併号」(四菱まちづくり総合研究室、2017年3月31日発行、編著)
- (2) 「『四菱まちづくり総合研究室』誕生から11年」(『自治研かながわ月報 No.167』((社)神奈川県地方自治研究センター発行、2017年10月25日、pp.23～26、単著)
- (3) 「自治体学会甲府山梨大会分科会6『市民がつくる中心街と自治体職員～甲府市を事例として～』(『自治体学 Vol.31-1』自治体学会発行、2017年11月30日、pp.26～27、単著)
- (4) 「自治体学会甲府山梨大会ポスターセッション 四菱まちづくり総合研究室 -甲府市中心街活性化を目指して学生が主体的に運営す

る『まちなか研究室』(『自治体学 Vol.31-1』自治体学会発行、2017年11月30日、pp.44、単著)

5. その他

- (1) 識者談話 (単独)
「後藤県政の評価 もっとポリシーを全面に」(『山梨日日新聞』2017年2月10日付)
- (2) 識者談話 (単独)
「後藤県政の点数は? 県民との対話不足懸念」(『山梨新報』2017年2月17日付)
- (3) 識者談話 (単独)
「山梨、議会基本条例が成立 『流会』に無反省、骨抜き」(『日本経済新聞』2017年5月1日付)
- (4) 社会的活動 (アドバイザー)
「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事 (2007年4月14日～、継続)
- (5) 社会的活動 (学会理事)
富士学会常務理事 (2015年4月1日～、継続)
- (6) 社会的活動 (学会評議員)
自治体学会企画部会員 (地域選出) (2016年8月19日～、継続)
- (7) 社会的活動 (研究員)
(社)神奈川県地方自治研究センター特別研究員 (2005年4月～、継続)
- (8) 社会的活動 (委員)
マンガ・アニメ活用推進委員会委員 (甲府商工会議所、2016年4月～、継続)

黒羽雅子

1. 論文

単著「準州時代(1854-67年)のネブラスカ銀行業」『アメリカ経済史研究』第16号、2017年12月。

2. 学会発表等

- (1) 単著「足利銀行と鈴木良作—長期計画の策定と地銀協創設運動をめぐって—」地方金融史研究会5月例会2017年5月26日

3. 公開講座講師及び学会活動

- (1) 単独「甲州財閥と若尾家の盛衰: 若尾逸平

(若尾家)」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター公開講座(企業家史研究会)『「アウトサイド・イン」の視点を持った企業家たちー持続可能なビジネスを構想した企業家の戦略的アプローチ』2017年11月11日。

4. 社会活動

(2017年12月末日現在)

- (1) 山梨県総合評価委員(2016年4月～現在)
- (2) 山梨県固定資産税評価委員(2015年9月～現在)
- (3) 地方金融史研究会副幹事(2016年9月～2017年3月)
地方金融史研究会幹事(2017年4月～9月)

5. 競争的資金の獲得

平成29年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般))
研究代表者「米国における銀行破綻処理手法の発展に果たした州法預金保険制度の歴史的意義」(平成29～31年度)

澁谷 彰久

1. 論文・報告書

- (1) 単著(2017年3月)第2章「後見制度支援信託と専用口座についてー預金口座の法的機能からの考察ー」『高齢社会における信託制度の理論と実務 金融・信託業から医療・福祉・看護までの役割と機能』日本加除出版(総364頁)査読無
- (2) 単著(2017年3月)「「信託口預金口座」の法的性質と課題ー福祉型管理口座の必要性を考える」信託フォーラム 2017年3月号 vol.7(53～60頁)日本加除出版 査読無
- (3) 単著(2017年5月)「(4) パネル7: 経済的搾取と監督 第4回成年後見法世界会議報告2～The 4th World Congress on Adult Guardianship～」実践成年後見 No.68(100～103頁) 民事法研究会 査読無

2. 研究助成・その他

- (1) 単独(2017年4月)日本学術振興会科学研究費 基盤研究C(一般)

継続採択(研究代表)テーマ:「認知症患者の医療同意と財産権保護における本人自己決定のための法的枠組みの研究」(2年目)

- (2) 共同(2017年4月)平成29年度 三菱UFJ信託奨学財団研究助成案件 テーマ:「高齢社会における信託の理論と実務の国際的研究」採択(研究総括・事務局担当)
- (3) (2017年11月)山梨県受託事業「やまなし市民後見人養成講座(第4期)」企画・コーディネーター・講演・司会
- (4) (2017年11月14日)日本経済新聞 私見卓見:「フィンテックは福祉も変えられる」執筆

二宮 浩輔

1. 学会報告・講演等

- (1) パネラー『ASEAN 経済と日本の関係』日本経済政策学会第74回全国大会共通論題パネルディスカッション、2017年5月27日、於亜細亜大学

2. その他

- (1) 環境アセスメント学会第16回大会実行委員長
- (2) 環境アセスメント学会理事・環境社会配慮研究部会長
- (3) 日本マクロエンジニアリング学会循環型社会研究会幹事
- (4) 米コロンビア大学東アジア研究所客員研究員ほか

波木井 昇

1. 報 告

- (1) 「香港経済動向と中国広東省における我が国企業の動き」公益財団法人山梨総合研究所「アジアフォーラム21」研究会(2017年10月)

2. 講 演

- (1) 「製造業を中心とする山梨の産業の現状」甲府一高(スーパーグローバルハイスクールプログラム)(2017年6月)
- (2) 「国際経済の動向について」松本蟻ヶ崎高校(2017年6月)

3. 社会的活動

- (1) 公益財団法人山梨総合研究所特別研究員
〔「アジアフォーラム 21」研究会企画運営、
年 6 回開催〕
- (2) 甲府財務事務所「第 7 回経済財政に関する
山梨コンファレンス」企画提案(2017 年 5 月)
- (3) 山梨県総合理工学研究機構運営・評価委員
会委員長
- (4) 甲斐市総合計画審議会委員(会長)
- (5) 山梨県民信用組合経営諮問会議委員(座長)
- (6) 地方独立行政法人山梨県立病院機構評価委
員
- (7) 公益財団法人山梨総合研究所理事
- (8) 公益財団法人山梨県国際交流協会評議員
- (9) 山梨県地域産業活性化協議会運営委員会委
員
- (10) 山梨大学地域イノベーション戦略支援プロ
グラム評価部会委員

箕浦一哉

1. 論文

- (1) Daimon S., Minoura, K., "Soundscape preservation policy and local society correspondence: A case of "100 soundscapes of Japan""", *Proceedings of inter-noise 2017*, 1623-1633, 2017.

2. 学会発表

- (1) 箕浦一哉「フィンランドにおけるサウンドスケーププロジェクト」日本サウンドスケープ協会 2017 年度春季研究発表会, 岩手大学(盛岡市), 2017 年 5 月 21 日.

3. その他

- (1) 研究会での発表: 「「100 選」自治体アンケート結果の速報」(大門信也・箕浦一哉), 日本サウンドスケープ協会研究会「「残したい「日本の音風景 100 選」をめぐって」, 熊本大学東京オフィス(港区), 2017 年 3 月 18 日.
- (2) 研究会での発表: 「サウンドスケープ研究の発信に向けて: 音環境政策を中心に」(箕浦一哉), 日本サウンドスケープ協会研究会「サウンドスケープが拓く研究の地平」, 青山学院大学(渋谷区), 2017 年 12 月 16 日.

森田玉雪

1. 論文

- (1) Morita, Tamaki and Kimika Yamamoto (2017) "Active Learning in Economics: A Brief Survey for Japan's Educators" 『山梨国際研究: 山梨県立大学国際政策学部紀要』第 12 号, pp. 57 - 68.

- (2) 山本公香、森田玉雪、馬奈木俊介 (2017) 「若年労働力層の幸福度と希望」『城西大学経営紀要』第 13 号, pp. 85 - 100.

2. 外部資金研究

- ・科学研究費補助金(基盤研究 B), 研究代表者. 課題番号 26285057 「エコプロダクツの貿易自由化が生み出す効率性と多様な軋轢の経済分析」2014 ~ 2017 年度.

3. 学会活動等

- (1) 報告「自動運転車導入への課題」, 「人工知能等が経済に与える影響研究」研究会, 経済産業研究所. 2017 年 5 月 8 日.
- (2) 討論者, 環境経済・政策学会, 高知工科大学永国寺キャンパス. 2017 年 9 月 9 日.
- (3) 報告「自動運転車が生み出す需要と社会的ジレンマ」, 経済産業研究所 DP 検討会, 経済産業研究所. 2017 年 11 月 6 日.
- (4) 論文査読 *Energy Policy* (Elsevier) / *International Journal of Hospitality Management* (Elsevier)

4. その他

- (1) 政策研究大学院大学 政策研究科 非常勤講師(政策論文演習) / 客員研究員 (~ 2017 年 3 月)
- (2) 独立行政法人経済産業研究所「人工知能等が経済に与える影響研究」研究会メンバー
- (3) 山梨地方最低賃金審議会委員
- (4) 山梨地方労働審議会臨時委員 (2017 年 11 月 ~)
- (5) ラジオ番組電話対談出演「2017 年の経済を振り返って」ニュースな時間, エフエム富士 Evening Rush (2017 年 12 月 21 日)

国際コミュニケーション学科

張 兵

1. 論 文

- (1) 「日本王漁洋研究的動向和展望」(中国語) 山東省古典文学学会・王漁洋文化研究保護中心編『紀念王漁洋誕辰 380 周年全国學術研討會論文集』齊魯書社 2016 年 12 月
- (2) 「近年における日中人的交流の動向に関する一考察」日中学生交流会論文集『日中関係の過去・現在・未来一日中若者の視点から』2017 年 1 月

2. 学会発表、レポート、講演、メディア出演など

- (1) 「中国の一带一路について」ラジオ FM FUJI 2017 年 5 月 25 日
- (2) 「急増する中国人海外旅行者とそのアジア諸国への影響」中国経済経営学会春季研究集会 2017 年 7 月 1 日
- (3) 「食料自給率の歴史と現在」山梨県立甲府南高校特別講義 2017 年 9 月 22 日
- (4) 「上海と日本」山梨県立甲府第一高校特別講義 2017 年 10 月 20 日
- (5) 「東京的城市管理」(中国語) 都市問題国際シンポジウム・北京 2017 年 10 月 31 日
- (6) 「共産党大会後の中国をどうみるか」ラジオ FM FUJI 2017 年 11 月 9 日
- (7) 「汪婉『激動する世界と中日協力のポテンシャル』」JCC ニュース No.25 2017 年 11 月

3. 社会貢献

- (1) 甲府市産業振興検討委員会委員 (2015～2017 年)
- (2) NPO 法人山梨県中国語・国際交流会副理事長 (2016 年 5 月～2018 年 4 月)
- (3) NPO 法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会副代表理事 (2016～2017 年度)
- (4) 日中関係学会宮本賞推薦委員 (2017 年度)
- (5) 中国経済経営学会春季研究集会コメンテーター (2017 年 7 月 1 日)
- (6) 日本華人教授会議会員 (2017 年 10 月～)
- (7) 第 41 回山梨県教職員文化展書道部門出品 (2017 年 1 月 20 日～26 日山梨県立美術館)

安藤勝洋

1. 講演等

- (1) “Heritage Tourism and Destination Management”, JICA Knowledge Co-Creation Program (Group & Regional Focus) Tourism Promotion and Marketing, JICA Tokyo, 2017 年 10 月
- (2) 「ベトナムの豊かな暮らしと観光～コミュニティの絆が生み出す元気と仕事～」, 県民コミュニティカレッジ、山梨県立大学、2017 年 10 月

2. 研究活動

- (1) 研究分担者、日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金「ベトナム・クーラオチャム島の日越協働考古学調査－文化資源を活用した島の観光開発－」、2017 年 4 月～

3. 社会的活動

- (1) 国際協力機構 (JICA) 草の根技術協力 専門家「ヘリテージツーリズムによる辺境農漁村の生計多様化プロジェクト」、2017 年 4 月～
- (2) 国際協力機構 (JICA) 運営指導調査員「ベトナム国ゲアン省観光開発マスタープラン策定支援」、2017 年 8 月～9 月
- (3) 委員 (座長)「峡東地域創生連携会議」、2017 年 4 月～
- (4) 分科会座長「－大月 DMO の可能性を考える－おおつき観光まちづくりフォーラム」、2017 年 11 月

伊藤ゆかり

1. 論 文

- (1) 単著 (2017 年 3 月)「スーザン＝ロリ・パークスにおける歴史と記憶」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第 12 号、pp. 23-33

2. その他

- (1) 教員免許更新講習選択講座「外国語活動」講師 (2017 年 7 月 22 日、於 山梨県立大学)

大村 梓

1. 著 書

- (1) 監修・沼野充義、編集・曾秋桂『村上春樹と秩序』、淡江大学出版中心、2017、[分担範囲]「文学作品の描く消費社会像の二面性における秩序：谷崎潤一郎「青い花」と村上春樹『ダンス・ダンス・ダンス』」、311 - 338 (2017、共著、査読有)

2. 論文等

- (1) 「ガールが表象するもの：『羊をめぐる冒険』を例に」、『第6回村上春樹国際シンポジウム予稿集』(2017、単著、査読有)
- (2) 「翻訳と近代日本文化をめぐる一考察—堀口大學と村岡花子を例に」、『山梨国際研究』、12、34-44 (2017、単著、査読有)

3. 学会発表

- (1) 「ガールが表象するもの：『羊をめぐる冒険』を例に」、2017年度村上春樹国際学術検討会、淡江大学村上春樹研究センター、京都 (2017、単独、査読有)

4. 講演会等

- (1) 成果報告「翻訳における言説構築の過程が文化形成に与える影響」、平成28年度大村智人材育成基金山梨県若手研究者奨励事業成果報告会 (2017、単独)
- (2) 研究報告「近代日本を彩った翻訳家たち：村岡花子と堀口大學」、国際シンポジウム「翻訳と文化—近代から現代にかけての文化形成過程—」(2017、単独)

高野美千代

1. 研究論文等

- (1) 科研費研究報告書[単編著]、基盤研究C「書物受容の歴史から見る近世英国書物文化の研究」、山梨県立大学、2017年3月
- (2) 著書[共著] *Little Gems of Yamanashi*、(および *A Guide to Little Gems of Yamanashi*) 山梨県立大学、2017年3月

2. 研究発表・報告等

- (1) [単独] “Elizabethan Antiquaries and the Beginnings of Auxiliary Sciences of History” at

University of Tokyo (研究会名：中国古代テキスト研究と西欧のフィロロギー～18世紀日本の文献学的・書誌学的学問方法の比較研究～), November 20, 2017.

- (2) [共同]「山梨県の小学校における『外国語活動』の効果的運営に関する実践的研究Ⅲ研究報告」山梨県立大学地域研究交流センター地域研究プロジェクト報告会、2017年3月

3. 地域貢献・各種講演会企画運営等

- (1) 教員免許更新講習選択科目小中教諭対象英語科運営担当 (2017年7月～8月、於 山梨県立大学)
- (2) 地域研究プロジェクトによる国際文芸交流各種イベント企画運営 講師：英国詩人カトリナ・ネイオウミ氏、俳人井上康明氏 (2017年10月～11月)
- (3) 国際政策学部英語特別講演会企画運営 第1回講師：岩崎清華氏 (英語教材制作者)、第2回講師：ミケーラ・ガルダ氏 (イタリアパヴィア大学教授) 於 山梨県立大学

4. 外部資金による研究活動

- (1) 科研費基盤研究B新規採択 (研究代表者、2017年度～2020年度予定) 課題名：「ウィリアム・カムデンの系譜におけるブリティッシュアイデンティティの探求と成立」
- (2) 科研費基盤研究Bによる共同研究事業・特別講演会「真実への道—近世イタリアにおける歴史記述—」(講師：イタリア東ピエモンテ大学 エドアルド・トルタローロ教授) 於 山梨県立大学、2016年11月21日

名和敏光

1. 表彰等

- (1) 山東大學儒學高等學院國際漢學研究中心客座教授

2. 論文

- (1) 「版本鑑定辯正二則」『第四屆東亞文獻研究國際學術研討會論文集』、揚州大學、2017年4月、単著、1～8頁、査読有。
- (2) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《室》《築》

綴合校釋』『第 28 屆中國文字學國際學術研討會論文集』、國立臺灣大學、2017 年 5 月、單著、617 ~ 626 頁、查讀有。

- (3) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之七》綴合校釋』『第三屆出土文獻與上古漢語研究（簡帛專題）學術研討會論文集』、中國社會科學院、2017 年 8 月、單著、122 ~ 129 頁、查讀有。
- (4) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《徙》《天地》《女發》《雜占之二》綴合校釋』『世界漢字學會第五屆年會論文集』、三峽大學、2017 年 9 月、單著、63 ~ 74 頁、查讀有。
- (5) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之六》《築（二）》《五行禁日》綴合校釋』『中國簡牘國際學術研討會論文集』、山東省博物館、2017 年 9 月、單著、101 ~ 112 頁、查讀有。
- (6) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇綴合之一』『“出土文獻與傳世典籍的詮釋”國際學術研討會論文集』、復旦大學、2017 年 10 月、239 ~ 243 頁、查讀有。
- (7) 「出土資料「堪輿」考』『古代史研究 第八』、研文出版、創立七十周年記念論文集、2017 年 11 月、257 ~ 269 頁、查讀無。

3. 學會報告・招待講演

- (1) 「版本鑑定辯正二則」、第四屆東亞文獻研究國際學術研討會（於揚州大學）、2017 年 4 月 14 日、單獨。
- (2) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《室》《築》綴合校釋」、第 28 屆中國文字學國際學術研討會（於國立臺灣大學）、2017 年 5 月 12 日、單獨。
- (3) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之七》綴合校釋」、第三屆出土文獻與上古漢語研究（簡帛專題）高端學術論壇（於北京）、中國社會科學院主辦、2017 年 8 月 15 日、單獨。
- (4) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《徙》《天地》《女發》《雜占之二》綴合校釋」、世界漢字學會第五屆年會（於三峽大學）、2017 年 9 月 16 日、單獨。
- (5) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之二》《築（二）》《五行禁日》綴合校釋」、中國簡牘學術研討會（於山東省博物館）、2017

年 9 月 26 日、單獨。

- (6) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇綴合之一」、 “出土文獻與傳世典籍的詮釋”國際學術研討會（於復旦大學）、2017 年 10 月 15 日、單獨。
 - (7) 「『抱朴子』所見呪語の遡及的考察」、日本道教學會第 68 回大會（於國學院大學）、2017 年 11 月 11 日、單獨。
- ### 4. 獲得資金
- (1) 研究代表者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究(C)、研究課題番號：16K02157、研究協力者：武田時昌（京都大學教授）、末永高康（廣島大學教授）、宮本徹（放送大學准教授）總額：4,810 千円）、 「中國古代の陰陽五行一占と科學の成立一」、2016 年 4 月 ~ 2019 年 3 月。（繼續）
<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16K02157/> 參照。
 - (2) 研究代表者、公益財團法人高橋產業經濟研究財團助成金、（總額：2,000 千円）、 「『天地瑞祥志』を中心とした前近代東アジア思想・文化の総合的研究」、2016 年 4 月 ~ 2018 年 3 月。（繼續）
<http://takahashi-f.or.jp/aid/pdf/list2016.pdf> 參照。
 - (3) 研究分擔者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究(B)、研究課題番號：26284010、研究代表者：谷中信一（日本女子大學教授）、總額：11,624 千円）、 「MultiDisciplinaryApproach による戰國秦漢期新出土資料研究」、2014 年 4 月 ~ 2018 年 3 月。（繼續）
<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/26284010.ja.html> 參照。
 - (4) 研究分擔者、日本學術振興會科學研究費補助金（基盤研究(B)、研究課題番號：15H03157、總額：14,890 千円、水上雅晴（中央大學教授）、 「年號勘文資料の研究基盤の構築」、2015 年 4 月 ~ 2019 年 3 月。（繼續）
<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/15H03157.ja.html> 參照。
 - (5) 研究分擔者、日本學術振興會科學研究

費補助金（基盤研究(B)、研究課題番号：16H03466 総額：15,600 千円、水口幹記（藤女子大学准教授）、「前近代東アジアにおける術数文化の形成と傳播・展開に関する學際的研究」2016年4月～2019年3月。（繼續）<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16H03466/> 参照。

(6) 研究分擔者、国立歴史民俗博物館平成27年度共同研究（研究代表者：水上雅晴（琉球大学教授）、「廣橋家舊藏文書を中心とする年號勘文資料の整理と研究」、2015年4月～2018年3月。（繼續）https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/research/list/joint/2015/hirohashi.html 参照。

5. 國際學會參加等

- (1) 第四屆東亞文獻研究國際學術研討會、2017年4月14～16日、於揚州大學、科研費。
- (2) 第28屆中國文字學國際學術研討會、2017年5月12～13日、於國立臺灣大學、科研費。出土醫學文獻研究國際研討會、2016年5月17日～18日、於上海中醫藥大學。
- (3) 第三屆出土文獻與上古漢語研究(簡帛專題)學術研討會、2017年8月14日～15日、於北京、中國社會科學院主催、科研費。
- (4) 世界漢字學會第五屆年會、2017年9月15日～17日、於宜昌市三峽大學、科研費。
- (5) 中國簡牘學術研討會、2017年9月24日～27日、於山東省博物館、科研費。
- (6) 出土文獻與傳世典籍的詮釋”國際學術研討會、2017年10月14日～15日、於復旦大學、助成金。

6. 學會役員・その他

- (1) 中國出土資料學會副會長、2016年4月～現在。
- (2) 日本道教學會評議員、2014年1月～現在。
- (3) 東京大學東洋文化研究所研究班「中國古代文獻の成立に関する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月～現在。<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html> 参照。

- (4) 京都大學人文科學研究所共同研究班「東西知識交流と自国化—汎アジア科学文化論」研究員、班長：武田時昌（京都大學人文科學研究所教授）、2017年4月～2019年3月。<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kyodokenkyu/tozaichishikikoryu.htm> 参照。
- (5) 山東大學儒學高等研究院（大學院）にて特別講義、2017年3月14日。

二戸麻砂彦

1. 著作

- (1) 共著「双方向型の高大連携による地域資源を活かした授業モデルの構築」（地域研究交流センター研究報告書、2017年03月）

2. その他

- (1) 学位「博士（文学）」國學院大學より取得（2017年03月）
*対象論文『節用文字の音注研究』（文部科学省科学研究費の研究成果公開促進費による学術図書／汲古書院、2015年10月）
- (2) 『吉川博士記念賞』（國學院大學）受賞（2017年03月）
*国語学（日本語学）に関する優秀な研究業績に対して授与された

萩原孝恵

1. 論文

- (1) 萩原孝恵、池谷清美（2017）「フィラーとの共起にみる舌打ちと笑い—タイ人日本語学習者の発話を表象する非言語行動の特徴—」『2017年第11回OPI国際シンポジウム台湾大会論文集』pp.96-103. (JSPS 科研費 JP16K02633)

2. 研究発表

- (1) 稲積宏誠、萩原孝恵、池谷清美（2017）「タイ人日本語学習者に特化したOPIレベル情報付き話し言葉コーパス公開に向けて」（青山学院大学総合研究所プロジェクト）、タイ国日本語教育研究会第29回年次セミナー分科会：口頭発表、2017年3月18日、タイ・国際交流基金バンコク日本文化センター。

- (2) 萩原孝恵、池谷清美 (2017) 「フィラーとの共起にみる舌打ちと笑い—タイ人日本語学習者の発話を表象する非言語行動の特徴—」(JSPS 科研費 JP16K02633)、2017 年第 11 回 OPI 国際シンポジウム：口頭発表、2017 年 8 月 5 日、台湾・淡江大学。
- (3) 宇佐美まゆみ、川口義一、萩原孝恵 (2017) 「『BTSJ 日本語会話コーパス』を活用した教材作成への提案—ヨーロッパにおける自然なコミュニケーション教育のために—」第 21 回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム (15th EAJS International Conference 共催)：萩原パネル「教科書会話 vs. 自然会話—カラとノデの語用論—」2017 年 8 月 31 日、ポルトガル・リスボン新大学
- (4) 西部由佳、萩原孝恵 (2017) 「会話授業にロールプレイを取り入れる—〈準備〉から〈実施⇔振り返り〉まで—」日本語教育学会関東支部集会：交流ひろば出展、2017 年 10 月 28 日、山梨大学。
3. 研究活動
- (1) 研究代表「タイ人の発話行為における言語随伴的な非言語・パラ言語行動に関する実証的研究」科研費基盤研究 (c) (一般)、平成 28 年度～平成 30 年度
- (2) 共同研究「よりよいコミュニケーションのための相槌や受け答え」日本語 OPI 研究会 研究班。
- (3) 研究代表 平成 29 年度山梨県立大学地域研究交流センター・プロジェクト「日本語を母語としない子どもたちの未来プロジェクト 2017—みんなで考える高校進学ガイダンス—」
- ① 2017 年 7 月 2 日、外国人保護者とその子どもたちのための進路進学ガイダンス開催
- ② 2017 年 11 月 12 日、外国人保護者とその子どもたちのための高校進学ガイダンス開催
※①②後援：山梨県教育委員会、甲府市教育委員会、中央市教育委員会、笛吹市教育委員会、南アルプス市教育委員会
- ③ 2017 年 12 月 10 日、子どもの日本語教育研究会第 2 回研究会：実践発表「高校進学ガイダンス終了直後の振り返りの重要性—開発型プロジェクトとしての試み—」東北大学。
4. 講 演
- (1) 国立国語研究所日本語教師セミナー「自然会話コーパスの分析を日本語教育に生かす！—明日の授業へのヒント—」依頼講演 & パネリスト「『だから』の語用論的分析は、いかに日本語教育に生かせるか」2017 年 1 月 28 日、国立国語研究所。
- (2) 山梨県教育庁義務教育課 平成 29 年度 第 2 回帰国・外国人児童生徒教育研究会 依頼講演「外国人児童生徒の理解につながる異文化コミュニケーションの視点」2017 年 8 月 24 日、山梨県総合教育センター。
- (3) 山梨県立大学地域研究交流センター秋季総合講座「異文化コミュニケーション—これって常識？それとも非常識？」2017 年 9 月 16 日、山梨県立大学サテライト教室。
5. 資 格 等
- (1) DLA 実践者養成のための講師育成研修「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」2017 年 8 月 8 日修了、東京外国語大学。
- (2) ACTFL-OPI Tester of Japanese with Full Certification, 2017 年 10 月 21 日更新、American Council on the Teaching of Foreign Languages.
6. 社会貢献
- 山梨県大規模小売店舗立地審議会委員、甲府市多文化共生推進計画策定委員会委員、日本語教育学会支部活動運営協力員

畑 中 杏 美

1. 著 書

共著 (2017 年 5 月) 『漱石辞典』小森陽一ほか編。「エリオット, ジョージ」「ギヤスケル, エリザベス・グレッグホーン」「ハーディ, トマス」「フィールディング, ヘンリー」「ベーン, アフラ」699, 701, 723, 725, 729 頁

2. 論 文

単著 (2017年3月) 「虚像が『語る』実像 :
Muriel Spark, *Emily Bronte : Her Life and Work*
が描く Emily Bronte」松山大学論集『言語文
化研究』第36号第2巻, 161-186頁

3. 学会発表

単著 (2017年5月) 「歳を気にする人々 :
The Years における老いの意識」日本英文学会
第89回大会、静岡大学、2017年5月21日

単著 (2017年7月) 「*Memento Mori* における
1950年代と高齢者問題」日本英文学会関東
支部大会第14回大会、明治学院大学、2017
年6月17日